BXシリーズ

USER'S GUIDE

ユーザーズガイド

ご使用の前に「本製品を正しく安全にご使用いただくために」（☞1ページ）を必ずお読みください。

1 パソコンをセットアップする
2 基本的な使い方
3 システムを拡張する
4 困ったときには

ONKYO®

はじめに

このたびは、「ONKYO BXシリーズ」をご購入いただき、まことにありがとうございます。
本書では、本製品を使うための準備から活用方法まで、本製品をお使いいただくための基本的なことがらを記述しています。お読みになった後は、大切に保管してください。

また、本書の「本製品を正しく安全にご使用いただくために」には、本製品を使ううえで特に知っておかなければならない注意事項を記載しています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みください。

・本書に記載している内容の、一部またはすべてを無断で転載・複写することは、禁じられています。
・本書に記載している内容は、将来予告なく変更する場合があります。
・本製品には、あらかじめOSがインストールされています。それ以外のOSをインストールされた場合、パソコンの正常動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。
・本製品には、あらかじめいくつかのソフトウェアがインストールされています。ソフトウェアは、ソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書の内容に同意した責任者だけ使用できます。同意書の内容に反したソフトウェアの使い方をすることは、禁じられています。
・本製品は、医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器などのように、人命にかかわり高度な信頼性を必要とする設備や機器への使用を目的として、設計していません。これらのものへ使用し、何らかの障害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

米国Macrovision社copy protection technologyについて

This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. and foreign patents, including patent numbers 5,315,448 and 6,836,549, and other intellectual property rights. The use of Macrovision's copy protection technology in the product must be authorized by Macrovision. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

本製品を正しく安全にご使用いただくために

本書には、お客様や他の方々が、財産などへの危害や損害を防ぐための重要なことがらを記載しています。本製品をご使用になる前に、必ずお読みください。

表記の意味

⚠警告　守らなかった場合、死に至る、または重度のけがを負う危険が発生する可能性があることを表しています。

⚠注意　守らなかった場合、軽度のけがや本機などへの重大な損害が発生する可能性があることを表しています。

禁止　してはいけない事柄を表しています。記号と共に描かれているイラストは、その内容を示しています。は「分解禁止」をあらわします。

指示　しなければならない事柄を表しています。記号の中に描かれているイラストは、その内容を示しています。は「電源プラグをコンセントから抜く」をあらわします。

安全上のご注意(⚠警告)

本体

洗い場、風呂場など、本機に水がかかる場所では使用しないでください。火災･感電の原因となります。

絶対に分解･改造をしないでください。火災・感電の原因となります。また、無償修理の対象外となります。

長時間使用する場合は、本体の底部が発熱しますので、膝の上に置いて使用しないでください。(発熱することは異常ではありません。)

電源、電源コード、ACアダプタ

付属のACアダプタ以外は使用しないでください。火災･感電の原因となります。

ACアダプタから何かこげるような匂いがしたり、表面がかなり熱いときは直ちに電源プラグを抜いてください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

電源が100V～240Vの範囲内であることを確認して使用してください。100V～240Vを超える電源を使用すると火災・感電の原因となります。

バッテリパック

付属のバッテリパック以外は使用しないでください。また、付属のバッテリパックを本製品以外に使用しないでください。発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリパックを火の中に入れないでください。破裂の恐れがあります。

バッテリパックに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

バッテリパックから液が漏れて、液が目に入ったときは、障害を起こす恐れがあるので、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

バッテリパック充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。そのまま充電を続けると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

バッテリパックが漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

バッテリパックは、危険を防止するための保護装置が組み込まれています。分解・改造などしないでください。保護装置が壊れ、発熱・発火・破裂の恐れがあります。

メ モ

二次電池を安全に安心してご使用いただくためには、(社)電子情報技術産業協会の“バッテリ関連Q&A集”(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/battery/menu1.htm)の内容をご覧いただきながらのご使用をお勧めいたします。

電波

電車やバスなど、人がおおぜいいる場所では、ワイヤレスLAN、Bluetoothを使用しないでください。心臓ペースメーカなどの医療機器が誤作動を起こすおそれがあります。

心臓ペースメーカを装着されている方は、本機を30cm以上離してご使用ください。心臓ペースメーカが誤作動を起こすおそれがあります。

病院、航空機など、無線機器の使用が制限されている場所では、ワイヤレスLAN、Bluetoothを使用しないでください。電子機器に影響を与え、人命にかかわる障害が発生するおそれがあります。

ワイヤレスLAN、Bluetoothは、日本国内での使用を目的とし、日本国内の規格認定を取得しております。海外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN、Bluetoothを、工場の製造ラインなどで使われている移動体識別用の構内無線局の近くで使用しないでください。万が一移動体識別用の構内無線局との電波干渉が発生したときは、ただちにワイヤレスLAN、Bluetoothの使用を中止し、弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

安全上のご注意(⚠注意)

電源プラグを抜くときはケーブルを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。故障の原因となります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。漏電・火災の原因となります。

振動や衝撃の加わる場所には設置しないでください。また、重い物をのせないでください。故障による火災·感電の原因となります。

熱の発生源の近く、直射日光のあたるところ、腐食性ガスのある環境、ほこりの多いところ、温度湿度条件を超える範囲では使用·保存しないでください。故障の原因となります。

タッチパッドの表面をペン先などの尖ったもので触れたり、表面シートをはがしたりしないでください。故障の原因となります。

ディスプレイを閉じるときは、キーボードとの間にボールペンなどの異物がないかどうかご確認ください。異物を挟んだまま、ディスプレイを閉じますと、ディスプレイを破損する恐れがあります。

タッチパッドは軽く触れるだけで動作します。必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を痛める原因となります。

本体を持ち運ぶときは、ディスプレイを閉じてください。ディスプレイを持ってぶらさげた状態で持ち運ぶと、ディスプレイに強い力が加わり、破損する恐れがあります。

雷が近いときは、すみやかに電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続されているケーブル類も抜いてください。故障の原因となります。

タコ足配線をしないでください。コンセントが加熱し、火災・感電の原因となります。

ACアダプタのケーブルの上にものをのせないでください。ACアダプタのケーブルが傷むと漏電・火災の原因となります。

バッテリパックから漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚がかぶれる恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗ってください。

バッテリパックは火中に投じたり、加熱・分解・ショート(＋と－の端子を針金などで接続させること)はしないでください。ケガの原因となります。

バッテリパックを、水や海水などにつけて、濡らさないでください。バッテリパックの破損や性能・寿命を低下させる原因となります。

バッテリパックを小児が使う場合、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。また、使用途中でも、取扱説明書のとおり使用しているかご確認ください。

バッテリパックを使う前に、サビ・異臭・発熱・その他異常と思われるときは、使用しないでください。弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

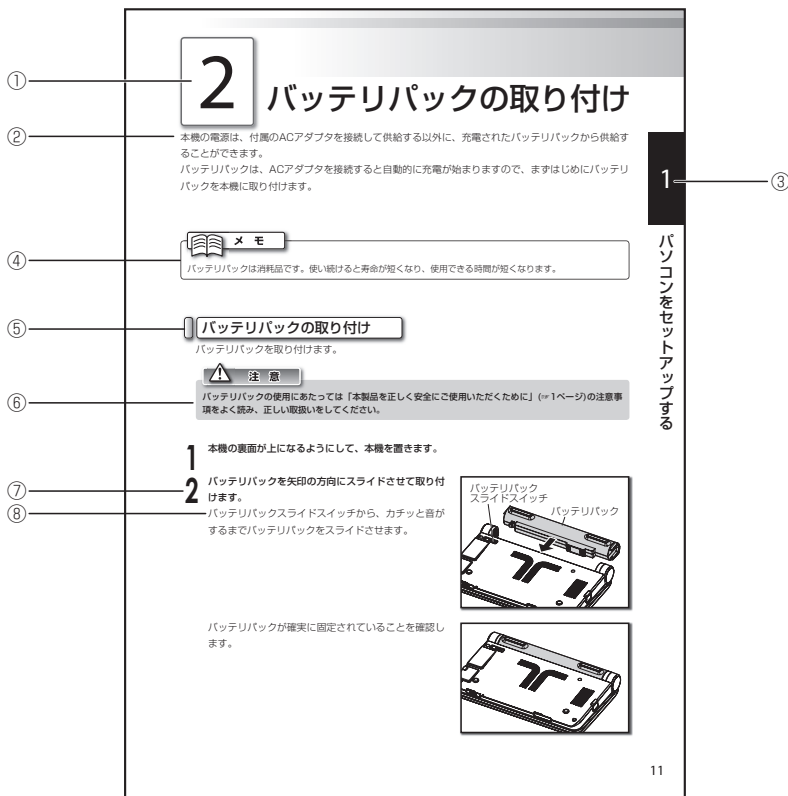
バッテリパックは乳幼児の手の届かない所へ保管してください。

取扱上の注意

・液晶ディスプレイは先の尖ったものでたたいたり、引っかいたりしないでください。破損する恐れがあります。
・本体外装の汚れは、清潔でやわらかい乾いた布を使い、から拭きしてください。
・本製品の付属物は大切に保存してください。
・SSDに保存したデータなどは、定期的にバックアップをお取りください。

・カラー液晶ディスプレイおよびバッテリパックは消耗品です。
・カラー液晶ディスプレイの有効ドット数の割合は99.99%以上です。
※有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイに表示できる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。
・カラー液晶ディスプレイは表示内容によっては明るさのむらが発生することがありますが故障ではありません。
・使用周囲温度が低いとき、また本製品自体が冷えきっているときは、電源をONにしてもディスプレイのバックライトが「点灯しない」、「点滅する」、「暗い」などの症状がでます。この場合は、一度本体の電源をOFFにし、しばらく常温(10〜35℃)の環境に放置した後、お使いください。

マニュアルの読み方

本書では、次のようなルールにもとづき、各種説明をしています。

※このページは、読み方をあらわすために作ったもので、実際のものとは異なります。

①各項目の大見出しです。
②各項目の概要文です。
③各章をあらわす見出しです。
④本製品を扱ううえで、知っておくと便利な内容です。
⑤各項目の中見出しです。
⑥本製品を扱ううえで、注意しないとうまく動作しなかったり、何らかのトラブルが発生するおそれのある内容です。
⑦操作の内容です。
⑧操作による結果の内容です。

目次

第1章 パソコンをセットアップする

第2章 基本的な使い方

第3章 システムを拡張する

第4章 困ったときには

第 1 章

パソコンをセットアップする

ここでは、パソコンを使用する際の作業環境や作業姿勢について説明します。
また、本機にACアダプタやバッテリパックを取り付け、電源をONにするまでの一連の操作方法を説明します。

1 作業環境について

パソコンを使った作業は、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業に比べて疲れやすくなります。ここではパソコンで作業をするときに気を付けていただきたい姿勢や、作業環境について説明します。

健康管理について

長時間作業をする場合は、30分ごとに2～3分休憩するなど、適度な休憩をとりましょう。また、座ったままの長時間の作業はストレスなどの原因にもなります。休憩時に軽く体操をするなど、気分転換をはかりましょう。
目が疲れてまぶたが重い、ぼやけて見える、肩が凝る、腕や手がしびれるなどの症状が出始めたら即座に休憩をとり、これらの症状が翌日まで残る場合は、早めに医師に相談しましょう。

作業環境について

画面が見づらいと、目が疲れやすくなります。次のことに気を付け、画面が見やすいように常に調整しましょう。

◉ 適切な照明のもとで作業する

一般的な事務作業もそうですが、パソコンを使った作業も同様に適切な明かりのもとで行いましょう。

◉ 見やすい位置にディスプレイの角度を調整する

ディスプレイに照明などの光が写り込むと、画面が見づらくなります。また、ディスプレイの特性上、角度によっては画面が見づらくなります。ディスプレイは、見やすい角度に調整しましょう。

◉ ディスプレイの清掃

ディスプレイにほこりがたまると画面が見づらくなります。乾いたやわらかい布で、軽くからぶきするなど、定期的に清掃しましょう。

本機は精密機器です。設置場所や取扱いについては、「本製品を正しく安全にご使用いただくために」(☞1ページ)の注意事項をよく読み、正しい取扱いをしてください。

2 バッテリパックの取り付け

本機の電源は、付属のACアダプタを接続して供給する以外に、充電されたバッテリパックから供給することができます。
バッテリパックは、ACアダプタを接続すると自動的に充電が始まりますので、まずはじめにバッテリパックを本機に取り付けます。

バッテリパックは消耗品です。使い続けると寿命が短くなり、使用できる時間が短くなります。

バッテリパックの取り付け

バッテリパックを取り付けます。

バッテリパックの使用にあたっては「本製品を正しく安全にご使用いただくために」(☞1ページ)の注意事項をよく読み、正しい取扱いをしてください。

1 **本機の裏面が上になるようにして、本機を置きます。**

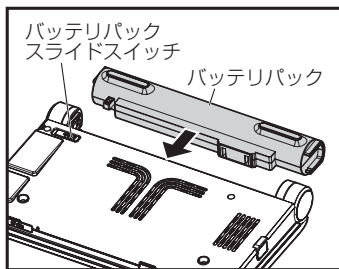
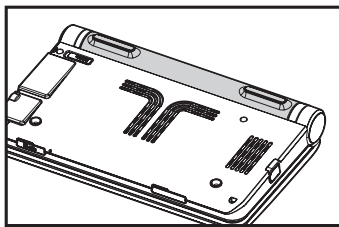
2 **バッテリパックを矢印の方向にスライドさせて取り付けます。**

バッテリパックスライドスイッチから、カチッと音がするまでバッテリパックをスライドさせます。

バッテリパックが確実に固定されていることを確認します。

1

パソコンをセットアップする

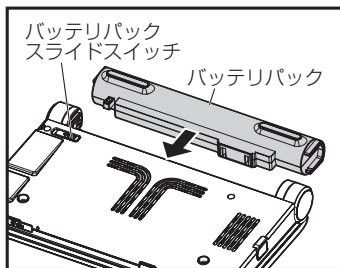
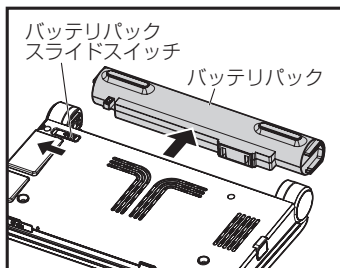
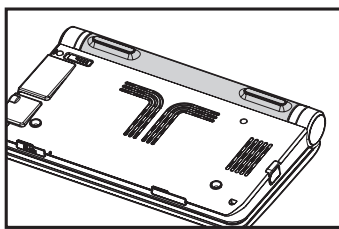
バッテリパックの交換

バッテリ切れなどで、他のバッテリパックに交換する場合は、次の手順で作業します。

1 本機の電源をOFFにします。

2 本機の裏面が上になるようにして、本機を置きます。

3 バッテリパックスライドスイッチを、解除の方向(■⌒)にスライドさせながら、バッテリパックを取り外します。

4 交換するバッテリパックを矢印の方向にスライドさせて取り付けます。

バッテリパックスライドスイッチから、カチッと音がするまでバッテリパックをスライドさせます。

バッテリパックが確実に固定されていることを確認します。

3 ACアダプタの接続

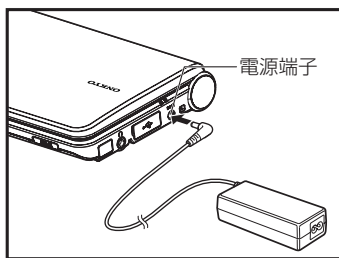
ACアダプタを接続して、本機に電源を供給します。ACアダプタを接続すると、バッテリパックの充電が始まります。

ACアダプタの接続

ACアダプタを接続します。

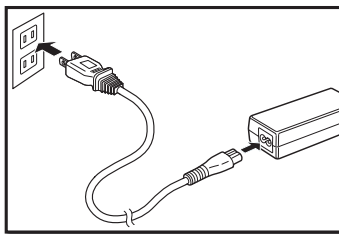
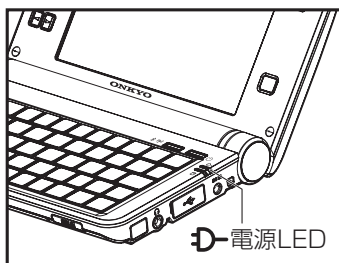
⚠ 警告

付属のACアダプタおよび電源コード以外のものは、絶対に本機で使用しないでください。本機の故障の原因となるだけでなく、発火や火災の原因となります。

1 ACアダプタのプラグを、本機の電源端子に差し込みます。

2 ACアダプタに電源コードを接続します。

3 電源コードのプラグを、ご家庭の電源コンセントに差し込みます。

バッテリパックの充電が始まり、電源LED( )が点灯します。バッテリパックが十分に充電されると、電源LEDが消灯します。

メモ

・バッテリパックが十分に充電されるまで、約4時間必要です。
・ACアダプタを接続しているときは、本機はバッテリではなくACアダプタから電源が供給されます。そのため、バッテリの充電状態を気にする必要はありません。

電源の供給状態について

本機の電源の状態は、電源LEDで確認できます。

◉ 電源LED()

緑点灯：本機の電源がONの状態です。本機の電源がONの状態で、ACアダプタが接続され、バッテリパックが充電中のときも緑色で点灯します。

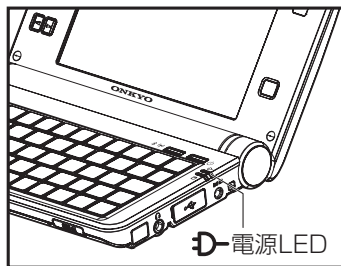
緑点滅：スタンバイ(省電力モードでの待機)の状態です。

赤点灯：本機の電源がOFFで、ACアダプタが接続されていて、バッテリパックが充電中の状態です。

赤点滅：ACアダプタが未接続で、バッテリパックの残量が低下している状態です。
バッテリパックの残量が低下している場合は、電源がOFFの状態でも赤色で点滅します。

赤点灯・緑点滅
：スタンバイの状態で、ACアダプタが接続されていて、バッテリパックが充電中の状態です。

消灯　：本機の電源がOFFの状態、または休止状態です。

注　意

- **バッテリパックの残量が少なくなってきたら、すみやかにACアダプタを接続するか、作成中のデータを保存して本機の電源をOFFにします。そのまま使用を続けると、本機の電源が自動的にOFFになり、作成中のデータが消去される恐れがあります。**
- **ACアダプタの使用については、「本製品を正しく安全にご使用いただくために」(☞1ページ)の注意事項をよく読み、正しい取扱いをしてください。**

ACアダプタの取り外し

バッテリパックが充電されている状態では、本機はACアダプタを取り外して使用できます。ACアダプタを取り外すときは、まず、電源コンセントから電源コードのプラグを外し、次に、本機の電源端子からACアダプタを取り外します。

警 告

電源コードは必ずプラグの部分を持って抜き差ししてください。電源コードを持って引っ張るなどすると電源コードの内部が破損し、火災の原因となります。

4 電源のONとOFF

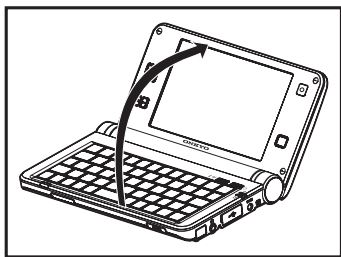
本機の電源をON/OFFする方法について説明します。

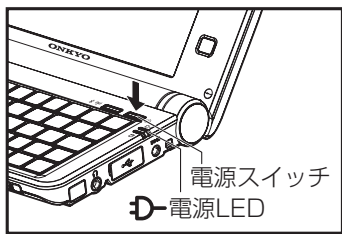
メ モ

ご購入後初めて電源をONにすると、Windowsセットアップ画面が表示されます。添付の「クイックセットアップガイド」を参照して、Windowsセットアップを完了させておいてください。

電源をONにする

本機の電源をONにします。

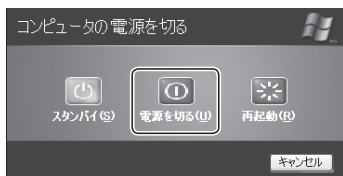
1 ディスプレイを持ち上げます。

2 電源スイッチを押します。

電源がONになります。電源がONになると、電源LED( )が点灯します。

電源をOFFにする

必ずWindowsを操作して、電源をOFFにします。

1 **スタート ボタンをクリックします。**
メニューが表示されます。

2 **「終了オプション」をクリックします。**
【コンピュータの電源を切る】画面が表示されます。

3 **「電源を切る」をクリックします。**
しばらくすると、電源がOFFになります。

◉ 電源をOFFにできないときは

マウスカーソルが動かなくなってしまった、キーボードからの入力を受け付けない、画面のどこをクリックしても反応が返ってこないなどの状態で、電源を強制的にOFFにしたい場合は、本機の電源スイッチを4秒以上押します。強制的に電源をOFFにした場合は、しばらく待ってからもう一度電源スイッチを押して電源をONにしなおし、上記の手順で電源をOFFにしてください。

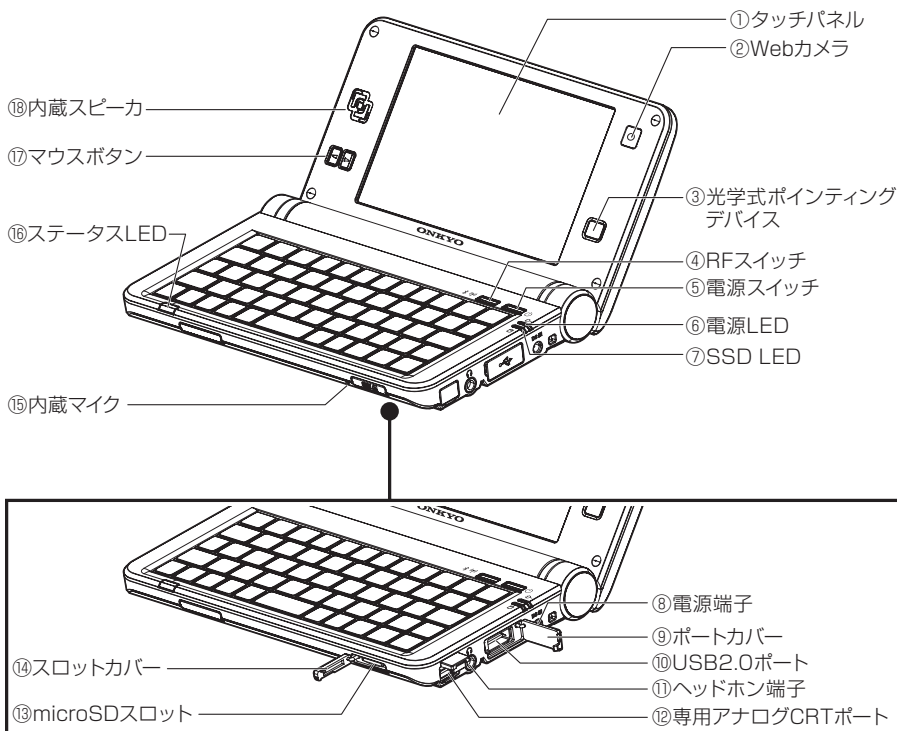
第2章

基本的な使い方

ここでは、本機の各部の名称や、タッチパッドとキーボードの操作など、本機を使うために知っておくべきことがらを説明します。

1 各部の名称とはたらき

本機の各部の名称と、それぞれのはたらきは、次のとおりです。

前面・右側面

① **タッチパネル**
直接ペンで触ってマウスカーソルを操作できるディスプレイです。(☞21ページ)

② **Webカメラ（カメラ機能搭載モデルのみ）**
Webカメラを使用して静止画・動画を撮影します。

③ **光学式ポインティングデバイス**
指をあてて上下左右に動かすとマウスカーソルを操作できます。(☞21ページ)

④ **RFスイッチ**
ワイヤレスLANおよびBluetoothのON/OFFを切り替えます。

⑤ **電源スイッチ**
本機の電源をONにします。(☞15ページ)

⑥ **電源LED**
電源の状態や、ACアダプタの接続状態、バッテリ残量の状態を知らせます。

⑦ **SSD LED**
SSDのアクセス状態を知らせます。

⑧ **電源端子**
付属のACアダプタを接続します。
(☞13ページ)

⑨ **ポートカバー**
USB2.0ポートが格納されています。
USB2.0ポートを使用するときに開きます。

⑩ **USB2.0ポート**
USBに対応する機器を接続します。

⑪ **ヘッドホン端子**
ヘッドホンを接続して、音声を出力します。

⑫ **専用アナログCRTポート**
外部ディスプレイを接続します。
(☞37ページ)

⑬ **microSDスロット**
microSDカードを挿入します。

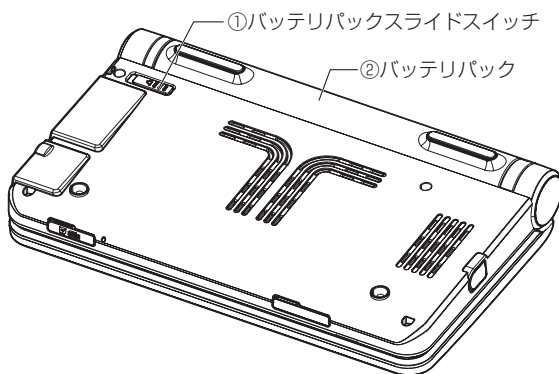
⑭ **スロットカバー**
microSDスロットが格納されています。
microSDスロットを使用するときに開きます。

⑮ **内蔵マイク**
音声を入力します。

⑯ **ステータスLED**
ワイヤレスLANおよびBluetoothの状態を知らせます。

⑰ **マウスボタン**
左ボタンはマウスの左クリック、右ボタンはマウスの右クリックと同じように操作できます。

⑱ **内蔵スピーカ**
音声を鳴らします。

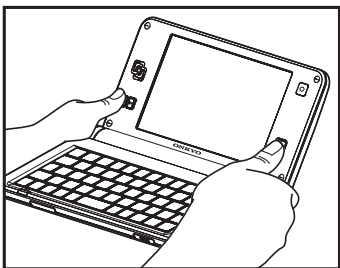
裏面

① **バッテリパックスライドスイッチ**
バッテリパックを取り外すときにスライドさせるスイッチです。（☞11～12ページ）

② **バッテリパック**
ACアダプタを使用できないときに、本機の主電源となります。（☞11～12ページ）

2 ポインティングデバイスの使用方法

ポインティングデバイスを使うと、マウスカーソルを操作して任意のアイコンを起動したり、アイコンを移動したりできます。
ポインティングデバイスの操作方法は、次のとおりです。

光学式ポインティングデバイスについて

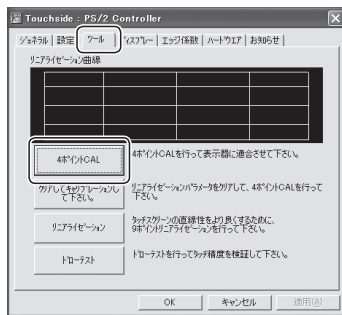
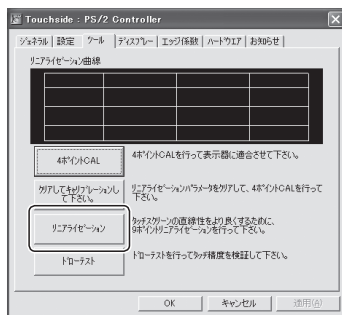
画面に表示されているマウスカーソルを動かすには、光学式ポインティングデバイスを指で操作します。光学式ポインティングデバイスに指をあてた状態で、指を上下左右に動かすと、それに連動してマウスカーソルが上下左右に動きます。

タッチパネルを使用する

タッチパネルを使用するときは、付属のスタイラスペンを使用します。
使用する際は、スタイラスペンを伸ばして使用します。
スタイラスペンでタッチパネルに触れることを「タップ」するといいます。
タップすることで、マウスカーソルの移動およびクリックを行うことができます。
同じ場所で短時間に2回タップするとダブルクリック、1秒程度タップしたままにすると右クリックすることができます。

タッチパネルを補正する

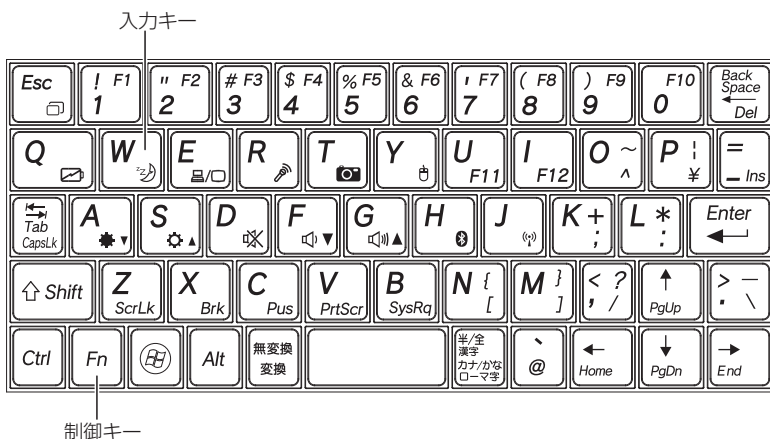
タッチパネルの反応がおかしいと感じたときは、タッチパネルを補正してください。

1 **スタート ボタン→「すべてのプログラム」→「Touchside」→「Configure Utility」を選択します。**
【Touchside : PS/2 Controller】ダイアログが表示されます。

2 **「ツール」タブをクリックし、[4ポイントCAL]ボタンをクリックします。**
画面が白くなり、タッチパネルの補正が始まります。
画面の指示にしたがって操作し、タッチパネルを補正します。
終了すると、元の画面に戻ります。

3 **[リニアライゼーション]ボタンをクリックします。**
画面が白くなり、タッチパネルの詳細な補正が始まります。
画面の指示にしたがって操作し、タッチパネルを補正します。

3 キーボードの使用方法

キーボードは、文字を入力したり、パソコンに任意の命令を与えることができます。
キーボードの構成と、各ボタンの説明は次のとおりです。

キーボードのキーの種類

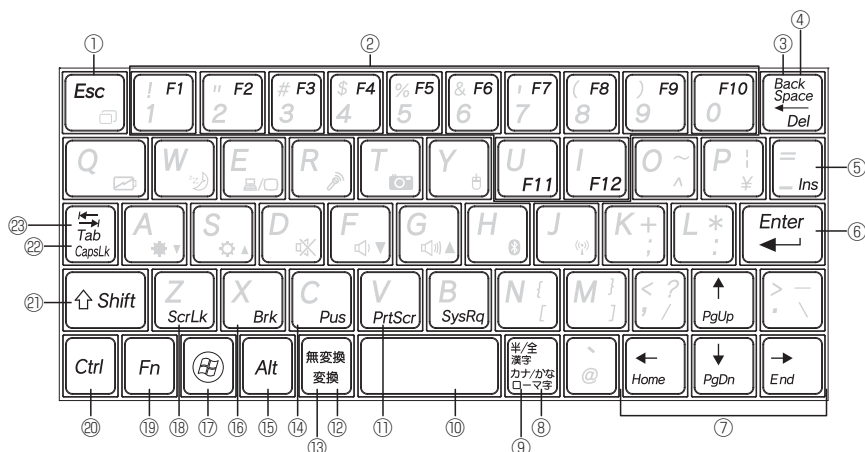
キーボードの各キーには、ボタンごとに異なる機能があります。キーボードの機能は、大きく2種類に分けることができます。

◉ 入力キー

ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字などの文字を入力します。文字の種類の切り替えは、基本的に制御キーによって行います。
キーによっては、制御キーとの組み合わせにより、特定の動作を行うものがあります。

◉ 制御キー

パソコンに、特定の動作を命令するためのキーです。他のキーと組み合わせて使うものや、ソフトウェアによって動作が異なるものがあります。
制御キーの基本的な機能は、次のページで紹介します。

キーボードの名称とはたらき

キーボードの各キーの名称と、それぞれのはたらきは、次のとおりです。

① **エスケープ(Esc)キー**
実行中の操作を取り消したり、ダイアログを消します。

② **ファンクション(F1～F12)キー**
Fnキーと同時に押します。それぞれのキーに、さまざまな機能が割り当てられます。ソフトウェアにより、割り当てられる機能は異なります。

③ **バックスペース(BackSpace)キー**
カーソルより左側の文字を1文字消します。

④ **デリート(Del)キー**
Fnキーと同時に押します。カーソルより右側の文字を1文字消します。

⑤ **インサート(Ins)キー**
Fnキーと同時に押します。文章を入力するときに、「上書きモード」と「文字挿入モード」が切り替わります。
「上書きモード」は、カーソルの右側に文字がある状態で文字を入力すると、右側にあった文字が入力した文字に上書きされます。
「文字挿入モード」は、カーソルの前後にある文字に、入力した文字が挿入されます。

⑥ **エンター(Enter)キー**
命令を決定します。

⑦ **カーソルキー**
カーソルを上下左右に移動します。

⑧ **半角/全角キー**
日本語入力→半角英語入力の順に、入力モードが切り替わります。

⑨ **カタカナ/ひらがなキー**
Fnキーと同時に押します。文字をひらがなで入力するときに押します。また、シフトキーと同時に押すと、文字をカタカナで入力できます。

⑩ **スペースキー**
文章を入力しているときに、空白文字を入力します。

⑪ **プリントスクリーン(PrtScr)キー**
Fnキーと同時に押します。ディスプレイに表示されている状態を、ビットマップ画像として書き出します。書き出した画像は、Windowsに標準搭載されている「ペイント」などの画像アプリケーションに貼り付けて、使用できます。

⑫ **無変換キー**
文字が全角ひらがな→全角カタカナ→半角カタカナの順に変換されます。

⑬ **変換キー**
Fnキーと同時に押します。文字を漢字、カタカナ、アルファベットなどに変換します。

⑭ **ポーズ(Pus)キー**
Fnキーと同時に押します。実行している命令を、中断します。

⑮ **オルト(Alt)キー**
他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。
例えば、オルトキーとFnキーと4キーを同時に押すと、開いているウィンドウが閉じます。

⑯ **ブレーク(Brk)キー**
Fnキーと同時に押します。実行している命令を、中断します。
文章を入力しているときは、文章が改行されます。

⑰ **Windowsキー**
Windowsの「スタート」メニューが表示されます。
また、他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。
例えば、WindowsキーとMキーを同時に押すと、開いているウィンドウがすべて最小化されます。

⑱ **スクロールロック(ScrLk)キー**
Fnキーと同時に押します。ほとんど使用されないキーです。ソフトウェアによって特別な機能が割り当てられていることがあります。

⑲ **エフエヌ(Fn)キー**
他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。(☞27ページ)

⑳ **コントロール(Ctrl)キー**
他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。
例えば、フォルダを開いているときにコントロールキーとAキーを押すと、フォルダにあるすべてのファイルとフォルダが選択されます。

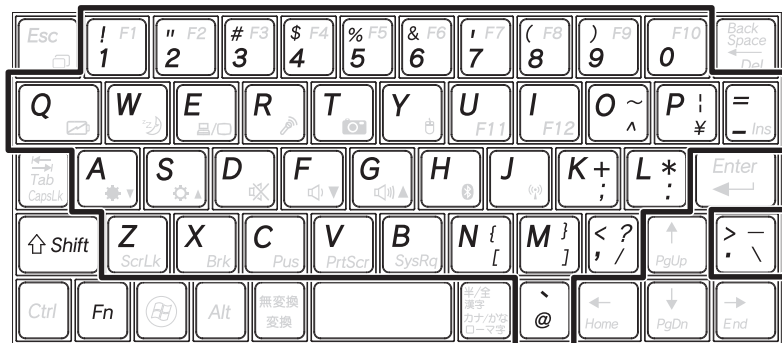
㉑ **シフト(Shift)キー**
他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。
例えば、シフトキーとキャップスロックキーを同時に押すと、アルファベットの大文字と小文字が切り替わります。

㉒ **タブ(Tab)キー**
カーソルを次の位置へ移動します。また、文章を入力するときに、特定の間隔のスペースを入力します。

㉓ **キャップスロック(CapsLk)キー**
Fnキーと同時に押します。日本語入力と半角英数字入力を切り替えます。また、シフトキーと同時に押すと、アルファベットを入力するときに、大文字入力と小文字入力を切り替えます。

2
基本的な使い方

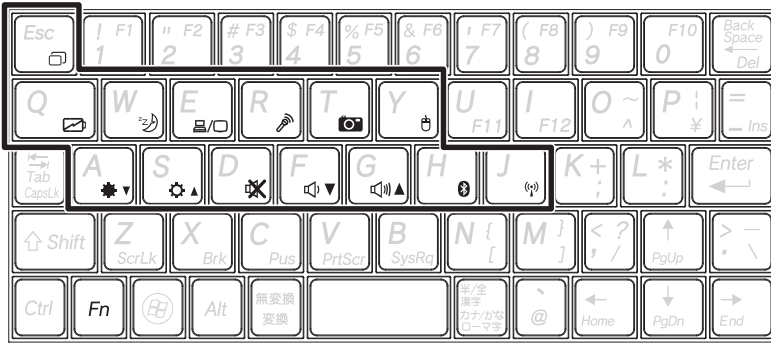
入力キーの使い方

枠で囲まれたところが、入力キーです。入力キーを押すと、キーに印刷された文字が入力されます。
1つのキーに複数の文字が印刷されている場合は、他のキーと組み合わせて入力します。

◉ 黒色の文字を入力するとき

黒色の文字が上段のみに表示されているキーは、次のように入力します。

◉ 水色の文字を入力するとき

機能キーの使い方

枠で囲まれたところが、機能キーです。スピーカの音量調整やWebカメラのON/OFFなどの機能が割り当てられています。機能キーは、Fnキーと組み合わせて使います。

◉ Fn+Escキー(解像度切り替え)
画面の解像度を切り替えます。「640×480」モード、「1024×600」モード、「1024×768」モードの3種類を切り替えることができます。(☞43ページ)

◉ Fn+Qキー(バッテリ残量確認)
バッテリ残量を表示します。

◉ Fn+Wキー(スリープボタン)
本機を休止状態に切り替えることができます。

◉ Fn+Eキー(ディスプレイ切り替え)
外部ディスプレイを接続しているとき、パソコンの表示を、本機のディスプレイと外部ディスプレイに切り替えます。(☞37ページ)

◉ Fn+Rキー(レコーダソフトの起動)
レコーダソフトが起動します。

◉ Fn+Tキー(内蔵カメラ有効・無効)
カメラ機能をONまたはOFFします。

本機能は「カメラ機能搭載モデル」のみの機能です。

◉ Fn+Aキー(輝度を下げる)
タッチパネルの輝度を下げます。

◉ Fn+Sキー(輝度を上げる)
タッチパネルの輝度を上げます。

◉ Fn+Dキー(消音)
内蔵スピーカから音声を出力しません。

◉ Fn+Fキー(音量を下げる)
内蔵スピーカからの音を小さくします。

◉ Fn+Gキー(音量を上げる)
内蔵スピーカからの音を大きくします。

・次のキーを押すと、RFスイッチ(☞19ページ)と同様に、Bluetooth機能と無線LAN機能を同時にON/OFFします。
Fn+Hキー
Fn+Jキー
・次のキーは動作しません。
Fn+Yキー

第3章

システムを拡張する

ここでは、本機に機器を接続したり挿入するなど、本機のシステムを拡張するための方法を説明します。

1 LAN(ワイヤレスLAN)の使用方法

本機では、ワイヤレスLANを使うことができます。ここでは、ワイヤレスLANの基本的な知識と、接続方法を説明します。

ワイヤレスLANの説明

ケーブルを使わず、電波を使ってLANを構築するシステムのことを、「ワイヤレスLAN」と呼びます。ワイヤレスLANは、通常「アクセスポイント」と呼ばれる中継器を使い、複数のパソコンをつなぎます。また、アクセスポイントに「ルータ」と呼ばれる機器を接続すると、インターネットを使うことができます。

最近では、「アクセスポイント」と「ルータ」が1つになった、「ワイヤレスLANルータ」がよく使われています。

メ モ

・アクセスポイント、およびワイヤレスLANルータは、市販のものをお買い求めください。

・アクセスポイント、およびワイヤレスLANルータの接続方法や設定方法は、各機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

ワイヤレスLANの規格

ワイヤレスLANには、いくつかの規格があります。本機は、「IEEE802.11g」、「IEEE802.11b」規格に対応しています。その他の規格には対応していませんので、ご注意ください。

ワイヤレスLANの接続

ワイヤレスLANに接続するには、次の2とおりの方法があります。

注 意

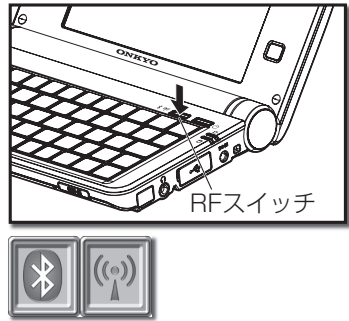
ワイヤレスLANを使わないときは、なるべくワイヤレスLANを接続しないようにしましょう。他の通信機器に障害が発生したり、第三者に不正アクセスされるおそれがあります。

メ モ

・ワイヤレスLANを設定するには、あらかじめアクセスポイントでの設定を行ったうえで、アクセスポイントの電源を入れておく必要があります。アクセスポイントの設定は、アクセスポイントに付属の取扱説明書をご参照ください。

・電源をONにした直後または、スタンバイモードや休止状態からの復帰時、無線LANは自動的に無効の状態となります。BIOS(☞51ページ)の設定を変更し、自動的に有効の状態にすることもできます。

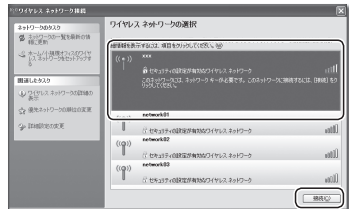
1 キーボード上部のRFスイッチを押します。

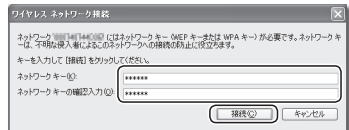
無線LANの機能をONにします。画面左上に無線アイコンが表示されます。

2 タスクバーの「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンをクリックします。

【ワイヤレスネットワーク接続】ダイアログが表示されます。また、本機の近くにあるワイヤレスネットワークが自動的に表示されます。

- 近くにアクセスポイントを設置しているにもかかわらず、ワイヤレスネットワークが表示されないときは、【ワイヤレスネットワーク接続】ダイアログの「ネットワークの一覧を最新の情報に更新」をクリックしてください。
- それでも表示されない場合は、アクセスポイントの設定をご確認ください。

3 接続するワイヤレスネットワークを選択し、[接続]ボタンをクリックします。

【ワイヤレスネットワーク接続】ダイアログが表示されます。

4 「ネットワークキー」欄と「ネットワークキーの確認入力」欄を入力し、[接続]ボタンをクリックします。

ワイヤレスLANに接続します。

ワイヤレスLANの接続の切断

ワイヤレスLANの接続を切断する方法は、次のとおりです。

ワイヤレスLANを使ってデータを送受信しているときは、接続を切断しないでください。データが破損するおそれがあります。

1 **RFスイッチを押して、無線LANの機能をOFFにします。**

無線LANの機能をOFFにします。画面左上に無線アイコンが表示されます。

キーボード上部のRFスイッチを押すことで、無線LANとBluetoothを強制的にOFFにすることができます。飛行機の中など、電波の使用が制限されている場所では、必ずRFスイッチを押して強制的にOFFにしてください。

2 ブルートゥース(Bluetooth)の使用方法

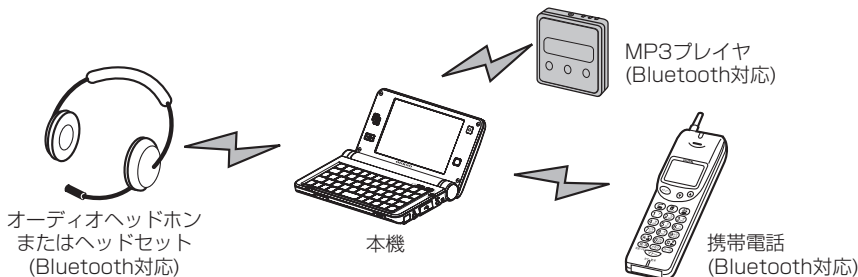
本機では、Bluetoothを使うことができます。ここでは、Bluetoothの基本的な知識と、接続方法を説明します。

本機能は「Bluetooth搭載モデル」のみの機能です。

Bluetoothの説明

Bluetoothを使うと、Bluetoothに対応するパソコンやMP3プレイヤ・携帯電話・ヘッドセットなどの製品間で、ケーブルを使わずに音声やデータの交換ができます。Bluetoothは、2.4GHzの帯域で動作し、半径10～100メートル程度の比較的狭い範囲で通信します。本機のBluetooth機能は、半径10メートル程度の範囲で使用します。

Bluetooth機能を使うには、ペアリングによって接続対象を特定し、双方に同一のパスキーを入力して接続を確立します。

- Bluetooth対応機器は、市販のものをお買い求めください。
- 携帯電話やヘッドセットなど、Bluetooth対応機器の操作方法は、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

Bluetoothの規格

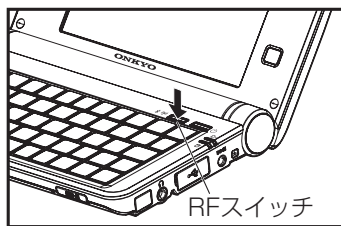
本機は、標準規格である「IEEE802.15.1」と、「Bluetooth 2.0+EDR」に対応しています。

Bluetoothの接続

Bluetoothの接続方法は、次のとおりです。ここでは、本機と市販のヘッドホンとの接続を例にとって説明します。

Bluetoothを使わないときは、なるべくBluetoothを接続しないようにしましょう。他の通信機器に障害が発生したり、第三者に不正アクセスされるおそれがあります。

電源をONにした直後、またはスタンバイモードや休止状態からの復帰時、Bluetoothは自動的に無効の状態となります。BIOS(☞51ページ)の設定を変更し、自動的に有効の状態にすることもできます。

1 **キーボード上部のRFスイッチを押します。**
Bluetoothの機能をONにします。画面左上に無線アイコンが表示されます。

2 **タスクバーにある「Bluetooth」アイコンをダブルクリックします。**

3 **接続するヘッドホンをペアリングモードにします。接続するヘッドホンの操作方法は、ヘッドホンの取扱説明書をご参照ください。**

4 **「デバイスの検索」をダブルクリックします。**
ペアリングモードになっている周囲のBluetooth対応機器を検索します。ヘッドホンが検索されると、画面にヘッドホンのアイコンが表示されます。

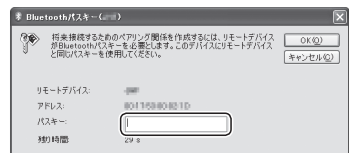
5 接続するヘッドホンのアイコンをダブルクリックします。

6 「Bluetoothヘッドセットとマイク」をダブルクリックします。

ヘッドホンに接続中であることを知らせるメッセージが表示された後、すぐに【Bluetoothパスキー】を入力するダイアログが表示されます。

7 「パスキー」欄に、接続するヘッドホンの取扱説明書に記載されているパスキーを入力します。

メ　モ

・周辺機器の多くは、パスキーに「0000」を使います。
・接続が切断された場合、再度手順4から行います。
・PANネットワークを使用してパソコン同士をBluetooth接続するとき、手順7で本機側からパスキーを入力した後、本機と接続するパソコン側から同じパスキーを入力する必要があります。

接続が確立するとメッセージが消えます。
「Bluetoothヘッドセットとマイク」アイコンの青い部分が緑色になります。

メモ

・プロファイルは、各Bluetooth対応機器に固有の通信手順(プロファイル)を標準化したものです。接続する機器同士が同じプロファイルをもっているとき、そのプロファイルの機能を利用した通信ができます。
・「Bluetoothヘッドセットとマイク」はプロファイルの１つで、接続する機器によって使用できるプロファイルは異なります。「サービスの検索」をダブルクリックすると使用できるプロファイルを再検索します。
・本機が対応しているプロファイルは次のとおりです。

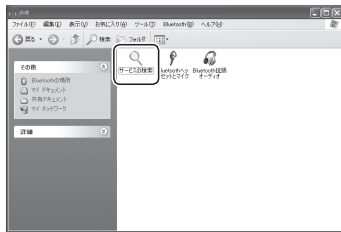
サーバのみの対応

Bluetoothヘッドセットとマイク

クライアントのみの対応

Bluetoothヒューマンインターフェースデバイス、Bluetoothダイアルアップネットワーキング、Bluetoothファックス、Bluetoothプリンタ

サーバ、クライアント対応

Bluetooth拡張オーディオ、Bluetoothファイル転送、Bluetoothオブジェクトプッシュ、Bluetoothパーソナルエリアネットワーキング、Bluetoothシリアルポート

Bluetoothの接続の切断

Bluetoothの接続を切断する方法は、次のとおりです。

注意

Bluetoothを使ってデータを送受信しているときは、接続を切断しないでください。データが破損するおそれがあります。

1 RFスイッチを押して、Bluetoothの機能をOFFにします。

Bluetoothの機能をOFFにします。画面左上に無線アイコンが表示されます。

注意

キーボード上部のRFスイッチを押すことで、無線LANとBluetoothを強制的にOFFにすることができます。飛行機の中など、電波の使用が制限されている場所では、必ずRFスイッチを押して強制的にOFFにしてください。

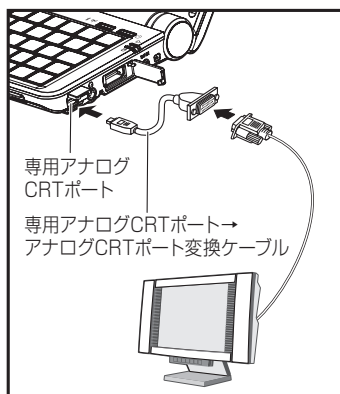
3 外部ディスプレイの接続

外部ディスプレイを接続すると、本機の画面に表示されている内容を、外部ディスプレイに表示することができます。

外部ディスプレイの接続

外部ディスプレイを接続する方法は、次のとおりです。

1 **本機と外部ディスプレイの電源をOFFにします。**

2 **専用アナログCRTポート→アナログCRTポート変換ケーブルを、本機の専用アナログCRTポートに接続して、外部ディスプレイのケーブルを、専用アナログCRTポート→アナログCRTポート変換ケーブルに接続します。**

3 **外部ディスプレイの電源をONにしてから、本機の電源をONにします。**

表示の切り替え

Fn+Eキーを押すと、次の順序で画面の表示が切り替わります。

・本機のディスプレイ
・外部ディスプレイ
・本機のディスプレイと外部ディスプレイの両方

外部ディスプレイの仕様により、表示できない解像度がある場合があります。

3

システムを拡張する

第4章

困ったときには

ここでは、本機を使用しているときに、何らかのトラブルが発生した場合の対処方法を説明します。
また、本機を廃棄するときの手順も説明します。

1 故障かなと思ったときには

本機がうまく動作しない、設定方法がわからないなど、本機を使ううえで困ったことが発生したときは、次のように対処してください。
それでも解決しない場合は、弊社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

起動

起動時に起こるトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 電源スイッチを押しても電源がつかない

・電源プラグ、ACアダプタが正しく接続されていない可能性があります。接続を確認してください。(☞クイックセットアップガイド)

・バッテリパックが十分に充電されていない可能性があります。ACアダプタを使って本機の電源をONにし、バッテリパックを充電してください。

・バッテリパックが消耗している可能性があります。バッテリパックを充電しても充電されない場合は、新しいバッテリパックを購入してください。

・周辺機器をすべて取り外し、電源を入れてください。

・本機またはACアダプタが故障している可能性があります。弊社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

◉ 起動時に表示されるWindowsのロゴのまま、画面が止まってしまった

・Windowsを、セーフモードで起動してください。
①Windowsを再起動し、はじめに表示される弊社ロゴ画面が消えた直後に、Fn+8キーを押します。
→【オペレーティングシステムの選択】画面が表示されます。
②Fn+8キーを押します。
→【Windows拡張オプションメニュー】画面が表示されます。
③↑ ↓キーで「セーフモード」を選択し、Enterキーを押します。
④「Microsoft Windows XP Home Edition」あるいは「Microsoft Windows XP Professional」が選択されていることを確認し、Enterキーを押します。
→Windowsが起動します。
⑤Windowsにログインします。
→「Windowsはセーフモードで実行されています」というダイアログが表示されます。
⑥[はい]をクリックします。

・セーフモードで起動できない場合は、リカバリーをしてください(☞48〜50ページ)。

◉ 画面に意味不明な英語やメッセージが表示された

・メモリカードが挿入されている可能性があります。メモリカード接続時は、メモリカードを取り外してください。

・「前回正常起動時の構成」で起動してください。

①Windowsを再起動し、はじめに表示される弊社ロゴ画面が消えた直後に、Fn+8キーを押します。

→【オペレーティングシステムの選択】画面が表示されます。

②Fn+8キーを押します。

→【Windows拡張オプションメニュー】画面が表示されます。

③↑ ↓キーで「前回正常起動時の構成(正しく動作した最新の設定)」を選択し、Enterキーを押します。

④「Microsoft Windows XP Home Edition」が選択されていることを確認し、Enterキーを押します。

→Windowsが起動します。

・セーフモードで起動してください。「起動時に表示されるWindowsのロゴのまま、画面が止まってしまった」(☞40ページ)をご参照ください。

・セーフモードで起動できない場合は、リカバリーをしてください(☞48〜50ページ)。

◉ Windowsの起動が遅い

・アプリケーションソフトや周辺機器を追加したことが原因である可能性があります。不要なアプリケーションソフトをアンインストールしたり、周辺機器を取り除いてください。

◉ Windowsを起動したときに、パスワード入力画面を表示させたくない

・パスワードを設定していない場合は、次の設定でパスワード入力画面を非表示にしてください。

①「スタート」メニュー→「コントロールパネル」を選択します。

→【コントロールパネル】ダイアログが表示されます。

②「ユーザーアカウント」を選択します。

→【ユーザーアカウント】ダイアログが表示されます。

③「作業を選びます」内から「ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する」を選択します。

④「ようこそ画面を使用する」にチェックをします。

⑤「オプションの適用」をクリックします。

終了

終了時に起こるトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ マウスカーソルが動かなくなってしまい、Windowsを終了できない

・キーボードを使って、Windowsを終了してください。

①(Windows)キーを押します

→「スタート」メニューが表示されます。

②↑ ↓キーで「終了オプション」を選択し、Enterキーを押します。

→【コンピュータの電源を切る】画面が表示されます。

③↑ ↓キーで「電源を切る」を選択し、Enterキーを押します。

→Windowsが終了します。

画面表示

画面表示についてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ デスクトップ上のアイコンを、思いどおりの場所に置きたい

①デスクトップ上の、アイコンが何もないところで右クリックします。

②表示されるメニューから「アイコンの整列」-「アイコンの自動整列」にチェックが入っている場合は、「アイコンの自動整列」を選択しチェックを外します。

③手順①と②を繰り返し、表示されるメニューの「等間隔に整列」にチェックが入っている場合は「等間隔に整列」のチェックを外します。

◉ アプリケーションソフトの表示が遅い

・多くのアプリケーションソフトを同時に起動していると、表示が遅くなります。使っていないアプリケーションソフトを終了させてください。

・本機を再起動してください。

◉ 画面サイズより大きいウィンドウが表示されて操作できない

・「640×480」や「800×600」の画面モードを、「1024×600」モードまたは「1024×768」モードに切り替えてください。

①Fn+Escキーを押して「1024×600」または「1024×768」モードに切り替えます。

②操作完了後、Fn+Escキーを押します。元の解像度になるまで、Fn+Escキーを数回押します。

→画面が元の解像度に戻ります。

◉ ディスプレイの色がおかしい、表示が見えない、表示がちらつく

・ディスプレイの角度を調整してください。液晶ディスプレイは、角度によって画面の表示が見えにくい場合があります。

・解像度、色数を変更してください。

①「スタート」メニュー→「コントロールパネル」を選択します。

→【コントロールパネル】画面が表示されます。

②「画面」を選択します。

→【画面のプロパティ】ダイアログが表示されます。

③「設定」タブを選択します。

④「画面の解像度」のスライドバーを移動させ、任意の解像度に変更します。

⑤「画面の色」内のドロップダウンメニューから、任意の色数に変更します。

⑥[OK]ボタンをクリックします。

・本機を再起動してください。

◉ 画面が真っ暗になってしまった

・一定の時間キー操作を行わなかったために、スタンバイモードになった可能性があります。電源スイッチを押してください。

・電源コードやACアダプタが、誤って抜けている可能性があります。接続を確認してください。

入力/キーボード

キーボードを使った文字入力についてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ Aキーを押すと「ち」が入力されるなど、正しく入力されない

・入力モードが「ローマ字」入力ではなく「かな入力」になっています。MS-IME言語バーの右端の下側にある「KANA」をクリックしてください。

ポインティングデバイス

ポインティングデバイスについてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ タッチパネルの反応がおかしい

・タッチパネルを補正してください。（☞「タッチパネルを補正する」22ページ）

◉ マウスカーソルの動きが悪い

・ポインティングデバイスに汚れやほこりなどが付いている可能性があります。きれいな布などで掃除してください。

◉ マウスカーソルが、勝手にダイアログの[OK]ボタンなどに移動してしまう

・オートジャンプ機能がONになっていますので、OFFにしてください。

①「スタート」メニュー→「コントロールパネル」を選択します。

→【コントロールパネル】画面が表示されます。

②「マウス」を選択します。

→【マウスのプロパティ】ダイアログが表示されます。

③「ポインタオプション」タブを選択します。

④「動作」内にある「ポインタを自動的に既定のボタン上に移動する」のチェックを外します。

⑤[適用]ボタンをクリックします。

⑥[OK]ボタンをクリックします。

日付と時刻

日付と時刻についてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 日付と時刻を変更したい

①「スタート」メニュー→「コントロールパネル」を選択します。

→【コントロールパネル】画面が表示されます。

②「日付と時刻」を選択します。

→【日付と時刻のプロパティ】ダイアログが表示されます。

③「日付と時刻」タブを選択します。

④任意の日付と時刻に変更します。

⑤[適用]ボタンをクリックします。

⑥[OK]ボタンをクリックします。

◉ 表示形式を変更したい

①「スタート」メニュー→「コントロールパネル」を選択します。
　→【コントロールパネル】画面が表示されます。
②「地域と言語のオプション」を選択します。
　→【地域と言語のオプション】ダイアログが表示されます。
③「地域オプション」タブを選択します。
④「標準と形式」内の「カスタマイズ」をクリックします。
　→【地域のオプションのカスタマイズ】ダイアログが表示されます。
⑤「時刻」タブを選択します。
⑥任意の形式、記号に設定します。
⑦[適用]ボタンをクリックします。
⑧[OK]ボタンをクリックします。

音声

音声についてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 音声が聞こえない

・ヘッドホンをご使用になっている場合は、内蔵スピーカから音声は聞こえません。ヘッドホンを外してください。

・消音(ミュート)が設定されている可能性があります。

・音量が小さく設定されている可能性があります。

ワイヤレスLAN

ワイヤレスLANについてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 突然接続が切断される、接続していても遅い

・本機とアクセスポイントの距離が遠すぎる可能性があります。本機とアクセスポイントを、適切な場所に移動してください。

・ワイヤレスLAN規格(IEEE802.11g、またはIEEE802.11b)により、電波が干渉しあっている可能性があります。電子レンジなど電磁波を発生するものや、無線機、Bluetooth対応機器、医療機器などが近くにある場合は、それらの電源を切るか、本機の場所を移動してください。

・ワイヤレスLANの地域設定が日本以外の地域に設定されている可能性があります。
①「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「管理」を選択します。
→【コンピュータの管理】画面が表示されます。
②画面左側の「デバイスマネージャ」を選択します。
③画面右側の「ネットワークアダプタ」をダブルクリックして表示される「ワイヤレスLANアダプタ（モデルにより名称が異なります）」をダブルクリックします。
→【ワイヤレスLANアダプタのプロパティ】ダイアログが表示されます。
④「詳細設定」タブを選択します。
⑤「プロパティ」欄に、「802.11bg zone type」や「Country Region 11G」などの、地域を設定する項目がある場合は、「ETSI」や「Japan」などを選択して日本国内の設定に変更します。
⑥[OK]ボタンをクリックします。

◉ ワイヤレスLANに接続できない

・ワイヤレスLAN接続が有効になっていない可能性があります。接続の設定などをご確認ください。
(☞「LAN(ワイヤレスLAN)の使用方法」30〜32ページ)

Bluetooth

Bluetoothについてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ Bluetooth機能をONにしても、Bluetooth対応機器が検索されない

・タスクバーのBluetoothアイコンが灰色になっている場合は、Bluetoothアイコンをクリックし、「Bluetoothをオンにする」を選択します。

◉ Bluetoothの接続が確立しない

・ワイヤレス機能、Bluetooth機能がOFFになっている可能性があります。キーボード上部のRFスイッチを押して、Bluetooth機能をONにしてください。

・タスクバーのBluetoothアイコンが灰色になっている場合は、Bluetoothアイコンをクリックし、「Bluetoothをオンにする」を選択します。

・デバイス名が重複している可能性があります。デバイス名を変更してください。
①タスクバーのBluetoothアイコンをクリックし、「マイデバイスのプロパティ」を選択します。
②「デバイス名」欄に表示されている自分のデバイス名を変更します。

・本機の近くに、電子レンジなど強力な電波を発生する機器がある可能性があります。本機と、強力な電波を発生する機器との距離を置いてください。

・誤ったパスキーを入力している可能性があります。接続するBluetooth対応機器の取扱説明書を確認し、正しいパスキーを入力してください。

◉ 使用中突然接続が切れる

・接続するBluetooth対応機器のバッテリが不足している可能性があります。接続する機器のバッテリ残量を確認してください。

・本機の近くに、電子レンジなど強力な電波を発生する機器がある可能性があります。本機と、強力な電波を発生する機器との距離を置いてください。

・本機と、接続するBluetooth対応機器との距離が離れすぎている可能性があります。本機のBluetooth機能は半径10メートル程度の範囲まで使用できますが、接続する機器のBluetooth機能の使用範囲が本機よりも狭い場合があります。接続する機器の取扱説明書でBluetooth機能の使用範囲を確認し、適切な距離で接続してください。

セキュリティ

ウィルスや不正アクセスなどのトラブルの、予防および解決方法は次のとおりです。

◉ ウィルスや不正アクセスを未然に防ぎたい

・ファイアウォールを有効にします。

①「スタート」メニュー→「コントロールパネル」を選択します。
　→【コントロールパネル】画面が表示されます。
②「Windowsファイアウォール」を選択します。
　→【Windowsファイアウォール】ダイアログが表示されます。
③「全般」タブを選択します。
④「有効」にチェックを入れ、［OK］ボタンをクリックします。

・市販されている、ウィルス駆除ソフトおよびファイアウォールソフトをインストールします。インストールおよび使用方法は、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご参照ください。

・Windowsのアップデートを定期的に行ってください。

①本機を、インターネットに接続します。
②「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Windows Update」を選択します。
　→【Windows Update】ダイアログが表示されます。
③［更新プログラムの確認］ボタンをクリックします。
④表示される指示にしたがって、アップデートをしてください。

◉ ウィルスに感染してしまったので、駆除したい

・即座にワイヤレスLANをOFFにするなどして、ネットワークの接続を切断してください。
その後、ウィルス駆除ソフトをインストールするか、電器店などの「ウィルス駆除サービス」を利用してください。

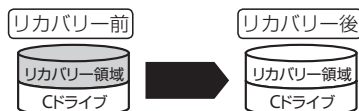
2 リカバリーについて

本機に何らかのトラブルが生じたときに、トラブルが生じる以前の状態に戻すことを、「リカバリー」と呼びます。ここでは、本機を工場出荷時の状態に戻す手順を説明します。

・リカバリーを行う前に、ファイルやフォルダ・メール・アカウントなどのバックアップをとってください。リカバリーは本機を工場出荷時の状態に戻すためのものですので、購入後作成されたファイルは、すべて削除されます。
・リカバリーを行うときは、必ずACアダプタを接続し、周辺機器を取り外した状態で行ってください。作業中に電源が切れると、正常にリカバリーができないことがあります。

SSDを使って復旧する

本機では、SSD内にあるリカバリー領域を使用してリカバリーします。

・短時間でリカバリーできる
・SSDの起動部分が壊れている場合はリカバリーを実行できない

・本章で説明する方法以外でSSDの初期化・リカバリーなどをおこなわないでください。リカバリーがおこなえなくなる場合があります。
・BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。BIOSの設定を変更した場合は、設定を工場出荷の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

◉ リカバリーの実行

購入時の状態にリカバリーします。

- この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブのデーターが消えます。消えたデーターは復旧できないので、あらかじめデーターのバックアップを作成しましょう。
- リカバリーの実行前に、本機に接続されている外部接続機器(メモリーカードも含む)は、すべて外してください。

1 **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

"ONKYO"ロゴの入った画面が表示されます。

2 **"ONKYO"ロゴが入った画面が表示されている間に、Fn+8キーを押します。**

※ロゴは、製品によって異なる場合があります。

【オペレーティングシステムの選択】画面が表示されます。

- Windowsが起動してしまった場合、再度上記手順をおこなってください。
- Fn+8キーを数回押すと、【Windows拡張オプションメニュー】画面が表示される場合があります。その場合は、「↓」キーを押して、[OSの選択メニューへ戻る]を選択し、Enterキーを押してください。【オペレーティングシステムの選択】画面へ戻ります。
- "ONKYO"ロゴの入った画面は、表示時間が短いのでご注意ください。タイミングは"ONKYO"ロゴが消える直前ですが、押すタイミングが合わない場合は、"ONKYO"ロゴが表示されている間、Fn+8キーを数回押してみてください。

3 **↓キーを押して [Harddisk Recovery] を選択して、Enterキーを押します。**

【ハードディスクの復元について】画面が表示されます。

4 **Yキーを押します。**

【復元の開始】画面が表示されます。

- リカバリーを中止する場合はNキーを押します。キャンセルのメッセージが表示されるので、Ctrl+Alt+Fn+BackSpaceキーを同時に押して、パソコンを再起動します。

5 **[Ctrl]+[S]キーを押します。**

リカバリーが始まります。

- リカバリーを中止する場合は[N]キーを押します。【ハードディスクの復元について】画面に戻ります。

リカバリーが完了したら、完了を知らせる画面が表示されます。

6 **[Ctrl]+[Alt]+[Fn]+[BackSpace]キーを押します。**

パソコンが再起動します。パソコンの再起動後、Windows XPのセットアップが始まります。

「Windowsセットアップを始める」(☞クイックセットアップガイド)を参照して、セットアップを完了させてください。

4

困ったときには

3 BIOSセットアップの起動

「BIOSセットアップ」とは、本機の基本的なハードウェアの設定を行うためのものです。通常は、設定を変更する必要はありません。

特に必要がない場合は、BIOSセットアップを行わないでください。また、BIOSセットアップは、設定内容をよく確認したうえで行ってください。
誤った設定をすると、本機が動作しなくなる恐れがあります。

BIOSセットアップの起動

BIOSセットアップを起動する手順は、次のとおりです。

1 本機の電源をOFFにします。

2 本機の電源をONにし、右の画面が表示されている間に［Fn］+［BackSpace］キーを押します。

しばらくすると、BIOSセットアップが起動します。

BIOSの詳しい操作方法については、「ONKYO電子マニュアル」から「付属のマニュアル」→「BIOSセットアップマニュアル」を参照してください。

4 廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

◉ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

オンキヨーは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。

本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。

事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1.事業系のお客様から、事業系専用リサイクルコールセンターにて受付。
2.全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3.リサイクルセンターへ運搬。
4.リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、次のWebサイトにてご案内しております。

事業系パソコンリサイクル窓口 一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

◉ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵便グループと提携して構築した回収システムを利用いたします。

対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。
PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。「再資源化料金」は、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」(☞次項)をご参照ください。

・パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社ホームページでも紹介しております。ぜひご覧ください。
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/
・同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(http://onkyodirect.jp/pc/used/)で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

◉ リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

回収対象製品	回収・再資源化料金(税込)
ノートブック型パソコン	3,150円
デスクトップ型パソコン	3,150円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,150円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,200円
液晶ディスプレイ	3,150円
CRTディスプレイ	4,200円

(本書制作時)

※なお、お支払い時には各種振込手数料(コンビニエンスストア:¥63、郵便局(窓口):¥110、郵便局(ATM):¥70)が発生します。予めご了承ください。

◉ 回収の仕組み

家庭/個人から排出

事業者から排出

お申込

【家庭系パソコンリサイクル窓口】
オンキヨー/ソーテックリサイクルセンター
電話:0570-003196(ナビダイヤル)
月曜～金曜 11:00～17:00
(土･日･祝日および弊社指定休業日を除く)
インターネット:
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

お申込

事業系パソコンリサイクル窓口
一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

料金体系や周辺機器などの個別条件につきまして、上記のWebサイトにてご案内しております。

マークあり

マークなし

郵送にて、リサイクル費用支払い用紙が到着

支払い

リサイクル費用※の支払い
(コンビニエンスストア・郵便局)

伝票受取

「エコゆうパック伝票」到着
PC梱包時の注意事項※を確認し、エコゆうパック伝票を添付。

回収

「エコゆうパック」にて回収
「お客様持込」または、「戸口集荷」

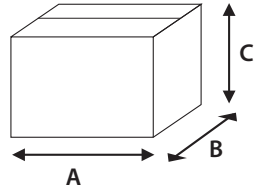
再資源化

再資源施設へ
排出品の郵送状況は、ゆうびんホームページ(http://www.post.japanpost.jp/)で、「エコゆうパック伝票」のお客様控えに記載されているお問合わせ番号を検索して調べられます。

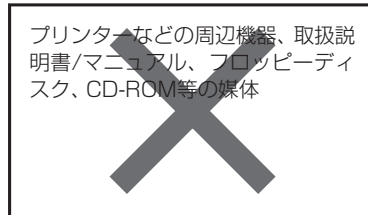
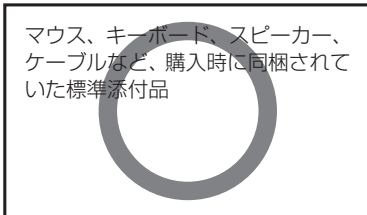
◉ PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

■輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で問題ありません。
■無梱包での輸送はできません。

◎梱包する際の条件は以下の通りです
- ・ダンボール箱(もしくは破れにくい袋)
- ・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
- ・A+B+Cの長さ=1.7m以内

＜条件を満たさない場合＞
梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。
その際は、オンキヨー/ソーテックリサイクルセンター受付窓口までご連絡ください。

◎デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱(もしくは袋)に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。

◉ 回収時の条件(回収規約)

オンキヨー及びソーテック製パーソナルコンピューターまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約(http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/images/20080910.pdf)をご確認頂き、同意して頂いた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

◉ 家庭系パソコンリサイクル窓口

【オンキヨー/ソーテックリサイクルセンター】

電話：0570-003196(ナビダイヤル)
月曜～金曜　11:00～17:00
(土・日・祝日および弊社指定休業日を除く)
この電話番号は、リサイクル専用です。
製品に関するサポートはおこなっておりません。

インターネット:
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

◉ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(平成三年四月二十六日法律第四十八号)第二十六条に基づく「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピューターの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号)第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】
市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピューターの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。

- ●市町村は弊社へ回収の申込みをおこないます。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
- ●廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
- ●市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局(簡易郵便局を除く)へ持ち込むことにより、弊社は使用済みパーソナルコンピューターを引き取ります。

注)製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。
※回収再資源化料金については、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」(☞53ページ)をご確認ください。

◉ 廃棄・譲渡時のSSD上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のSSDという記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このSSD内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合に、一般に

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「削除」操作をおこなう
・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
・ソフトで初期化(フォーマット)する
・SSDのリカバリーをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業をしますが、これらのことをしても、SSD内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのSSD内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザーが破棄・譲渡等をおこなう際に、SSD上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、SSDに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、SSD上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

索　引

あ

い

う

え

お

か

き

く

こ

し

す

せ

た

て

な

に

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

り

る

れ

わ

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　（　　）

メモ：

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.jp.onkyo.com/

P0911-1

UsersGuide DC01-N1071-01B